

江川選手^左と笑顔で話す小野寺選手（1月28日）



チームの顔として5シーズンにわたり活躍した、小野寺太志選手の退部を発表した。プロバレーボール選手として、広島へ残る

はばだびり！
JIサンダーズ広島

久原 大輝

● 小野寺選手ありがとう

か、他チームへ移籍するか。本人にとっては苦渋の決断だったに違いない。

私は、選手・マネジャーとして彼と関わってきた。選手時代はウエイトトレーニングのグループをともにした。2桁の長身ながら、どの種目も器用にこなす彼の身体能力に少し嫉妬していた。片足で行うシングルスクワットだけは、彼より重い重量を上げられたのは良い思い出だ。

私が引退した後は、主将とスタッフの関係で2年間活動した。どんな取材やイベントに対しても積極的に取り組んでくれて、チームを盛り立ててくれた。プレー面ではセッター陣とコンビが合うまで自主練習に取り組み、バレーボールへの姿勢を後輩たちに示してくれた。

移籍を決断したときは、全日本での合宿活動期間中であり、残念ながら最後に顔を合わすことはなかった。恐らく次はネットを挟んで対峙することになるだろう。

その際は、彼との対戦をサンダーズの選手たちには、十分楽しんでほしいところだ。小野寺選手、今までありがとう。

（JT広島マネジャー）